

電子黒板を利用した小学校英語授業の諸要件 / 8年の実践から

田淵 龍二 (ミント学習教室)

マイク キャネヴァリ (マイイングリッシュ)

【 はじめに 】

2011年度から小学56年で英語が必修化される。「英語ノート」には、285単語50表現、歌やチャンツ、ゲームやクイズなどが並び、英語活動や自己紹介ができるようになることを目指している。そして従来のALT中心から担任中心へ軸足を移しつつ、英語を教えた経験のない教員を支援する電子教材や電子黒板の導入を促進するとしている。小学校の英語授業については、指導者(教員)や教材、教育法の問題が指摘されている。各種の異見もあり世論も分かれているなかでの開始で、多くの関係者から不安と懸念の声があがっている。

ミント学習教室では2004年来 プレーヤーミントによる一斉授業で電子黒板を利用し、2006年からはマイイングリッシュも加わって、実践的な電子授業を開始。実践報告と研究発表を行ってきた。*1

今回の研究では以上の総決算として、電子教材教具に要求される要件と教授法について、言語習得の3要素「音声、意味、文字」、授業展開の3課程「導入、定着、活用」、表現活動の3成分「単語、表現、気持ち」、教材教具の3方面「ハード、動作ソフト、コンテンツ」の観点から整理しながらまとめた。発表は電子授業の実演を交えて行なう。

【 要 点 】

一、電子黒板を利用した小学校英語授業の諸要件

(1) 音声重視

入門期の児童英語では、特に、音とリズムを大切にしたい。

その電子授業は、音声をシャワーのように浴びせていますか？

(2) ストレスフリー

コンピュータの存在を感じさせない、対面式の暖かい授業であること。

生徒は「評価されている」と感じない、ゲーム感覚の演習や復習。

その電子授業は、電子機器に振り回されていませんか？

(3) クラスコミュニティー形成

仲間と一緒に意見を出し合い、合意を形成していく力(人間関係力)を養う授業。

知識の有無から一歩進んで、知識を使って知恵を働かせる訓練です。

その電子授業は、対話教育になっていますか？

(4) 担任力を引き出す

英語の授業は駆け出しでも、授業のプロとしての担任力を引き出せる。

その電子授業は、授業しながら(音声面で)教師自らがスキルアップできますか？

(5) 自在な教材作成力

明日の授業に適した教材編集を前日5分で準備できる。

授業で使う教材が電子化されていると、最高の電子授業が期待できる。

その電子教材は、あなたの生徒のために準備したものでしょうか？

二、授業の展開と電子教材・電子教具の使い方

1st stage: 導入 = 新規情報の提示、プレゼンテーション

新しい単語や表現を効果的に提示するのは電子教材の得意分野。
音と意味（画像）の同期的提示が生徒の集中力を持続させ、日本語に拠らない自律的
理解を実現する（字音義一体のスタジオ効果）。

2nd stage: 定着 = 反復練習、トレーニング

言語習得の基本となる反復練習を、ゲーム感覚で楽しいイベントにする。
その電子教材は、反復練習を生徒が飽きずに続けられますか？

3rd stage: 活用 = アクティビティ

導入と定着の課程は電子教材の得意分野だが、活用では電子機器から離れ、電子教材
は側面支援として使う。
スタジオ効果による仮想現実環境を提供して、生徒をその気にさせる。
その電子授業は、紙や道具などの物を使った方がよくないですか？

三、電子授業を成功させる設備面での諸要件

・マルチメディアのスタジオ効果を発揮する設備

生徒の集中力を持続させ、言語習得能力を引き出し、音のシャワーと映像力で、字音
義一体の自律的理解を促す最低限の設備は、コンピュータ、プロジェクタ、スピー
カ、スクリーンと、コンテンツ・電子教材ユニット ムービーボックス *2。
その電子授業は、生徒がドンドン声を出していますか？
その電子授業は、電子機器のハード面だけに偏っていませんか？

四、電子化により陥りやすい罠

・授業を行なうのは人間(担任と生徒)、電子機器はチョークと同じ道具のひとつ。

チョークやカードと同じように電子機器を使いこなせますか？

・道具(電子機器)をいつどこでどう使うかは人間が決める

電子機器を使わなければいけない」と思い込んでいませんか？
その電子授業は、使いたいときに、使いたい場面で、すぐ使えますか？
その電子授業は、あたりまえのことが、あたりまえにできますか？
その授業は、聞く、話す、読む、書く、触れる、動く、話し合う」をオールラウン
ドにしていますか？

必修化による小学校での英語の授業も、電子授業も新しい社会の動きです。中
高の英語教育の土台です。力をあわせて成功させましょう。

*1 主なものは、「映画のシーンを利用したリズムカルな発話練習」2006.6 第 116 回 LET 関東
支部大会、「映画を使った語学学習 - 映像、音声、字幕、ト書きのデータベース研究開発」2006.8
第 46 回 LET 全国大会(京都)、「気持ちを伝える会話表現 / 映画データベース開発」2007.6 第
118 回 LET 関東大会、「教材提示ソフトウェアを用いた一斉授業と個別学習(ワークショップ)」
2007.10 第 119 回 LET 関東支部大会(仙台)、「映画を使った語学学習 / 映画まるごと
データベース開発研究と母語によらない英語表現」2007.8 第 47 回 LET 全国大会(名古屋)
、「フォニックス ライムによる 英語発音訓練の有効性を検証する」2008.6 LET 関東支部 第
120 回研究大会(東京)、「フォニックス ライム」2008.8 WorldCALL 2008)

*2 movie-Boxed kids 動作ソフトと教材を同梱した USB-HDD ユニット(ミントアプリケーションズ)。